

# みんなの健康ラジオ

『皮膚の細菌感染症 第1回』

(2021年4月29日放送)

横浜市皮膚科医会

綱島診療所 そう皮膚科

宋 寅傑

# 皮膚の常在菌と病原菌

— 代表的な菌種 —

## 常在菌

健全皮膚に存在する細菌

### 表皮ブドウ球菌

皮膚常在菌だが  
増殖し過ぎると  
病原性となる

### ざ瘡桿菌

ニキビの原因菌

## 病原菌

皮膚感染症を引き起こす細菌

### 黄色ブドウ球菌

通常の抗生物質が効かない  
メチリン耐性黄色ブドウ球菌  
(MRSA)もある

### 化膿性連鎖球菌 (A群溶連菌)

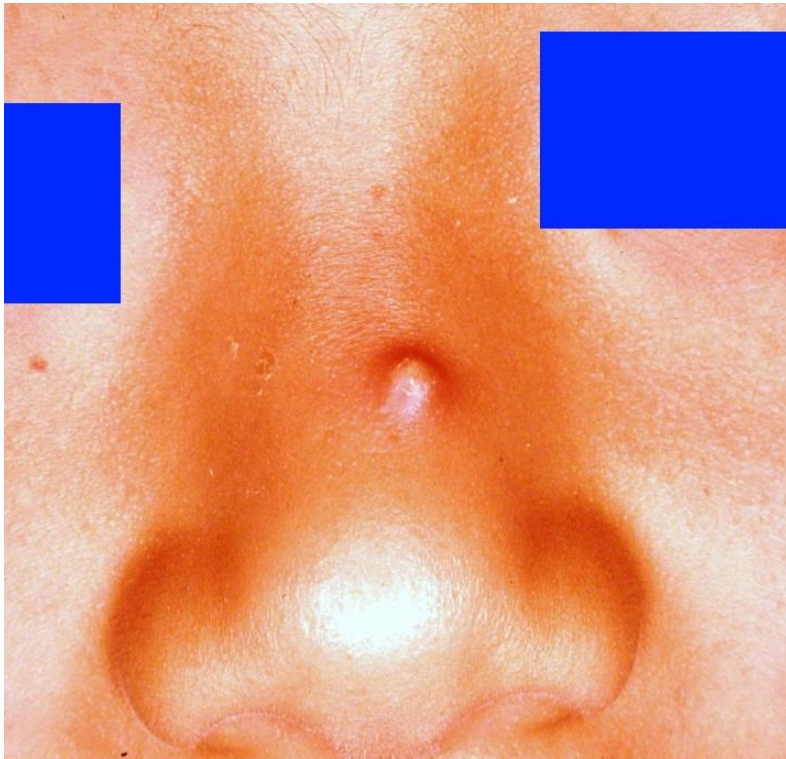
治癒後の腎炎発症に注意

### 表皮ブドウ球菌

通常の抗生物質が効かない  
メチリン耐性表皮ブドウ球菌  
(MRSE)もある

# せつ、毛包炎      せつ腫症

毛穴（毛包）の細菌感染症



## せつ、毛包炎

1個の毛包に細菌感染を  
起こした状態。単発性の  
膿疱を生じて 痛みがある。



## せつ腫症

互いに離れた複数の毛包に  
細菌感染を起こした状態。  
痛みのある膿疱が多発。

# 伝染性膿痂疹（とびひ）

皮膚表層（表皮）の細菌感染症

水疱性膿痂疹 黄色ブドウ球菌が原因

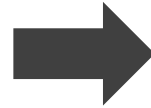


腹部の水疱性膿痂疹  
左の写真とは別症例

伝染性膿痂疹のほとんどが この病型。夏季に小児に発症。水疱膜の薄い水疱が次々に生じ、容易に破れて びらんとなる。通常痒みがあり、搔くことによって皮疹が広がる。

# 痂皮性膿痂疹

化膿性連鎖球菌（A群溶連菌）が原因



写真左の症例の治癒後

極めて稀にしか見られない。季節に関係なく起こり、成人にも発症する。病変部に厚い痂皮が多量付着。A群溶連菌によるため、治癒後の腎炎発症に注意が必要である。

# ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群（SSSS）

黄色ブドウ球菌の外毒素による全身性疾患



乳幼児に発症。口囲、眼瞼の発赤に続いて全身に紅斑を生じその後全身に水疱が多発。水疱は容易に破れて全身皮膚にびらんを生ずる。全身性の発熱も伴う。

## 細菌性皮膚疾患の治療

抗生物質の内服、外用、重症例では点滴静注を行う。内服、点滴静注ではセフェム系ないしペニシリン系抗生物質が多く用いられるが、MRSA、MRSEでは、これらの系統が有効ではなく、ホスホマイシンなど別系統の抗生物質が用いられる。